

2025年度 各授業学習目標・授業目標 科目名：2年探究 アート思考

高等部教育目標	
イエス・キリストを通して、人と世界に仕える使命感と実力を養い、豊かな心と真摯な態度を備えた人格を培う	
探究型カリキュラム教育/学習目標	
Mastery for Service を体現する世界市民の一員として、国内外の社会に自ら関わり貢献できる力を育成する/身につける	
探究型カリキュラムにおける5つの学びの方針 Five Principles for Learning	
1. 自分事として <オーナーシップ/一人称>	2. 社会/実践を通して <PBL型/アクション>
3. 知識を大事に <自ら得る知識/高める関心>	4. コミュニケーションを通して <自分/他者のやりとり>
5. 生徒・教員が共に <共に探究する関係性>	
上位学習目標	
<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アートの理解に必要な歴史的背景やモチーフ・技法・展示方法などを理解し適切に用いることができる ・ 社会課題や哲学的言説について理解し、アートと関連させて説明することができる <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アートを見て感じ取ること（＝感性）、あるいはその手法を通して社会課題を多角的にクリティカルに捉え、自分の考えを構築することができる ・ 物事に一つの解答を求めるのではなく、多様で複雑なまま受け入れて熟考することができる ・ 自分自身の価値観やモノの見方を俯瞰し、他との関係性のなかで相対的に意味づけることができる <p>【学びに向かう力・人間性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分自身を通して自由に世の中を捉えることで、自分の未来の可能性を開いていくことができる ・ 他者の表現や言説を自分の価値観に照らして、主体的に想像することができる ・ 作家が内省を突き詰めて作品と対峙することを追体験することで、内在する自己の有りように向き合う姿勢を身につける 	
下位学習目標	
<p>【知識・技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① アート思考と論理思考の違いを理解し、用語として、手法として使い分けることができる。 ②対話型鑑賞や作品分析に必要な情報を集め、目的に応じて選択することができる。 ③アートにまつわる哲学的言説や時事、歴史的事実などについて自分の言葉で語るすることができる。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①アートとそうでないものとの違いについて鑑賞者と作品との相対性やコンテキストによる関係性を意識して考察することができる。 ②一つのアート作品についての情報を総合し、自分なりの分析を施すことができる。 ③アートプロジェクトや文化政策、パブリックアート等を通してアートに関わる社会課題について推察し見通すことができる。 <p>【学びに向かう力・人間性】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①より多くのアート作品や文献に触れようとするすることができる。 ②一つの作品やプロジェクトに関する学びに対して時間をかけることができる。 ③自らの考えを昇華させるために、他者とアートについて語り、互いの価値観を認める姿勢を身につける。 	

< 1 学期 >

授業日	4/15(火)	1 学期授業回数	1 回目 / 全 9 回
本時	主なターゲット【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力・人間性】		
学習目標	本時の具体的な目標 ・ 探究授業とはどのような授業なのかを理解する ・ アート思考の授業とはどのような授業なのかを理解する。また、アートノートの重要性について説明。		
時間	5 限	全体ガイダンス	
授業内容	6 限	授業の狙いや進め方についての説明、発想力ゲーム	
評価方法	学びの記録による評価		
宿題指示			

授業日	4/22(火)	1 学期授業回数	2 回目 / 全 9 回
本時	主なターゲット【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力・人間性】		
学習目標	本時の具体的な目標 ・ 夏休みフィールドスタディ企画の紹介 ・ ビジネスの世界におけるアート思考の紹介		
時間	5 限	夏休みに、瀬戸内芸術祭に行くフィールドスタディの紹介	
授業内容	6 限	スティーブ・ジョブスの紹介、アートと AI 開発について海外と日本の事例を参照していき、これからの AI と人間の関係について考察する	
評価方法	アートノートによるまとめと調べ学習		
宿題指示			

授業日	4/30(木)	1 学期授業回数	3 回目 / 全 9 回
本時	主なターゲット【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力・人間性】		
学習目標	本時の具体的な目標 ・ パブリックアートについて ・ 鑑賞について		
時間	5 限	パブリックアートの歴史についてと、日本におけるパブリックアートを歴史的に見ていきながら、その変容を考える。	
授業内容	6 限	鑑賞するから、深く鑑賞するへの切り替えを考える 1 点作品を鑑賞し、メモをとり、それをグループで発表する。自分と他者の感じ方のズレや違いを経験する。	
評価方法	学びの記録の提出		
宿題指示			

授業日	5/13(火)	1 学期授業回数	4 回目 / 全 9 回
本時	主なターゲット【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力・人間性】		

学習目標	本時の具体的な目標 ・ 固定観念を打ち破り、自由な発想を行うということへの感度を高める ・	
時間 授業内容	5 限、6 限	ゲスト講師岩淵拓郎氏によるレクチャー「なんだこれ？」 さまざまな「なんだこれ？」を観て、「なんだこれ？」を感じ取る。
評価方法	学びの記録による	
宿題指示	次回の授業で、自分の考えた「なんだこれ？」を発表する	

授業日	5/27(火)	1 学期授業回数	5 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力・人間性】 本時の具体的な目標 ・ 自分が作成した「なんだこれ？」について、他者の意見を聞く。 自分が気付かなかったことまで他者が感じ取っているものがあったり、様々な発見がある。 ・ 他者の作成した「なんだこれ？」を観て、自分が感じたことを発表する。		
時間 授業内容	5 限 6 限	各自が作成した「なんだこれ？」60 秒動画を観ながら、コメントをしていく。 各々が自分の観点で作品に「なんだこれ度」を評価する。	
評価方法	学びの記録による		
宿題指示	次回 6 / 3 は兵庫県立美術館に現地集合		

授業日	6/3(火)	1 学期授業回数	6 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力・人間性】 本時の具体的な目標 ・ 対話型鑑賞を通して、自分のもののかん感じ方や捉え方と他者の感じ方や捉え方との違いを感じ取ると同時に、自分の解釈を深める。		
時間 授業内容	5 限 6 限	兵庫県立美術館の本物の美術作品で、学芸員の方に対話型鑑賞を行っていただく。その後館内の作品を自由鑑賞する。	
評価方法	学びの記録による		
宿題指示			

授業日	6/10(火)	1 学期授業回数	7 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力・人間性】 本時の具体的な目標 ・ 自由鑑賞した作品に関して自分なりの捉え方を整理し発表につなげる ・		
時間 授業内容	5 限 6 限	3～4 人のグループの中で自分の気になった作品について 90 秒の発表を行う。 その発表に対してグループ内で質問をし、お互いに理解を深めていく。 各自が、他者からの質問も取り入れながら、次週の全体発表に向けて準備をしていく。	

評価方法	グループ内での活動内容に関してその取り組み姿勢
宿題指示	次週の発表に向けてのパワーポイントの準備、事前提出

授業日	6/17(火)	1 学期授業回数	8 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力・人間性】 本時の具体的な目標 ・兵庫県立美術館で気になった作品をプレゼンテーションする ・		
時間 授業内容	5 限 6 限	一人 3 分から 5 分の時間でプレゼンテーションを順番に行っていく	
評価方法	学びの記録による評価 プレゼンテーションはお互いに評価しあう		
宿題指示	アートノートを次回提出		

授業日	6/24(火)	1 学期授業回数	9 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力・人間性】 本時の具体的な目標 ・プレゼンテーションの見やすい資料について ・夏休みの課題 1 「アートエッセイ」について ・夏休みの課題 2 「課題図書」について		
時間 授業内容	5 限 6 限	わかりやすいプレゼンテーション資料の見せ方について説明する。 「アートエッセイ」作成にあたり、どのようなことを意識していくかを一昨年度のエッセイを提示して解説する。 夏休み課題図書の提示とその発表についての説明を行う。	
評価方法	アートノートを回収し、チェックする		
宿題指示			

< 2 学期 >

授業日	9/9(火)	2 学期授業回数	1 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力・人間性】 本時の具体的な目標 ・夏休み課題であったアートエッセイの内容を発表 ・発表することで自分の書いたエッセイの論点や内容を吟味してみる。 ・他者の発表を聴くことで、様々な感受性に会い、自分自身の考え方、感じ方を広げていく。		
時間 授業内容	5 限 6 限	全員が順番に夏休み課題であったエッセイを 3 分で発表する。	
評価方法	学びの記録による評価		

授業日	9/16(火)	2 学期授業回数	2 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力・人間性】 ----- 本時の具体的な目標 ・夏休み課題であった課題図書を読んで、ブックトークを行う		
時間 授業内容	5 限～6 限	一人ずつ3分～4分でブックトークを行う	
評価方法	学びの記録による評価		
宿題指示			

授業日	9/25(木)	2 学期授業回数	3 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力・人間性】 ----- 本時の具体的な目標 ・20世紀から21世紀にかけてのアートの新しい動向の変化を歴史的に捉え、現代の作品への解釈を深める。 ・アートの文脈ということを知る(その1)		
時間 授業内容	5 限 6 限	作品スライドを観ながら、近代都市パリを中心とした20世紀美術の動向をとらえ、やがて戦争を挟んで、ヨーロッパからアメリカに多くの作家がわたり、美術の中心がニューヨークにうつっていったこと。シュールレアリスム宣言と作家たちの反応を捉えていく。	
評価方法	アートノートへのまとめを評価する		
宿題指示			

授業日	9/30(火)	2 学期授業回数	4 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力・人間性】 ----- 本時の具体的な目標 ・20世紀から21世紀にかけてのアートの新しい動向の変化を歴史的に捉え、現代の作品への解釈を深める。 ・アートの文脈ということを知る(その2)		
時間 授業内容	5 限 6 限	作品スライドを観ながら、近代都市パリを中心とした20世紀美術の動向をとらえ、やがて戦争を挟んで、ヨーロッパからアメリカに多くの作家がわたり、美術の中心がニューヨークにうつっていったこと。シュールレアリスム宣言と作家たちの反応を捉えていく。	
評価方法	アートノートへのまとめを評価する		
宿題指示			

授業日	10/7(火)	2 学期授業回数	5 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力・人間性】 ----- 本時の具体的な目標 ・パブリックアートが住民とどのようなかかわり方をしているかをフィールドスタディ ・		
時間	2 : 2 5	六甲アイランドに集合し、初めに小磯記念美術館の学芸員の方より、神戸市とパブリックアート、	

授業内容	から 4 : 3 0	六甲アイランドとパブリックアートについてレクチャーを受ける。 その後、実際に街角のパブリックアートを班ごとに巡りながら、そこに生活する人にインタビューをしながら、人々の意識やパブリックアートの在り方について調査する。
評価方法	学びの記録による評価	
宿題指示		

授業日	10/23(木)	2 学期授業回数	6 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力・人間性】 ----- 本時の具体的な目標 ・鑑賞体験 ・発表の準備		
時間 授業内容	5 限 6 限	モニターに大阪万博のパブリックアートを示し、五感を使った鑑賞体験を行う。 六甲アイランドで取材した内容をグループで話し合い、次の授業での発表の準備を進める。	
評価方法	学びの記録による評価		
宿題指示	次回授業での発表に向けて準備を進める		

授業日	11/11(火)	2 学期授業回数	7 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力・人間性】 ----- 本時の具体的な目標 ・六甲アイランドで自分たちがアートを通して感じたことをグループでまとめ発表する ・アートの文脈について考える		
時間 授業内容	5 限 6 限	グループによる発表とそれに対する質疑応答 カテランの作品“コメディアン”を題材にアートの文脈について考察する	
評価方法	学びの記録による評価 アートノートまとめによる評価		
宿題指示			

授業日	11/18(火)	2 学期授業回数	8 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力・人間性】 ----- 本時の具体的な目標 ・具体美術協会について ・		
時間 授業内容	5 限 6 限	松谷武判作品を鑑賞する 具体美術協会の作家たちについて考察する	
評価方法	アートノートによる評価		
宿題指示	具体美術協会の作家一人について調べてみる		

授業日	11/25(火)	2 学期授業回数	9 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力・人間性】 ----- 本時の具体的な目標 ・ 2 学期内容の総復習		
時間 授業内容	5 限 6 限	問 1 ダダイズムからシュルレアリスムはどういう時代背景の中で生まれてきたのか。 問 2 「GUTAI」について という問いに 2 学期に自分の理解したことをベースに、調べたことを付加してまとめるという課題に取り組む。	
評価方法	アートノートによる評価		
宿題指示	新年度初回授業の発表について		

< 3 学期 >

授業日	1/13(火)	3 学期授業回数	1 回目 / 全 6 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力・人間性】 ----- 本時の具体的な目標 ・ 自分が気になった作家について調べて発表する ・		
時間 授業内容	5 限 6 限	自分が調べた作家について 4 分で発表し、それについての質疑応答を順番に行う	
評価方法	学びの記録による評価 他己評価		
宿題指示			

授業日	1/20(火)	3 学期授業回数	2 回目 / 全 6 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力・人間性】 ----- 本時の具体的な目標 ・ 20 世紀美術Ⅳ 世界が認めた日本人アーティスト ・ 戦争とアート		
時間 授業内容	5 限 6 限	デュシャン以降の現代アートの流れを何人かの作家に触れながら捉える。 特に戦争とアートの結びつきに着目し、近代が現在に至る社会的な要因を学ぶ。	
評価方法	アートノートに授業内容及び「美術とは何だと思う？」という問いかけに自分なりの考えをまとめる。		
宿題指示			

授業日	1/27(火)	3 学期授業回数	3 回目 / 全 6 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力・人間性】 ----- 本時の具体的な目標 ・ 3 年生アート思考選抜メンバーによるプレゼンテーション ・ AI と創造性について		

時間 授業内容	5 限 6 限	3 年生アート思考の生徒 4 名が自分たちの研究テーマである「障がい者雇用とアート」についてプレゼンテーションを行う。また、その中で具体的実践としての障がい者アート作品の対話型鑑賞を行う。 AI とアートについてのテーマで AI について考える
評価方法	学びの記録による評価	
宿題指示		

授業日	2/3(火)	3 学期授業回数	4 回目 / 全 6 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力・人間性】 本時の具体的な目標 ・ピアティーチングに向けてのクラス内発表と質疑応答		
時間 授業内容	5 限 6 限	17 日のピアティーチングに出場する 2 班による「アート思考の授業について」と「対話型鑑賞について」についてのプレゼンテーションを行い、クラス全体で修正案などを提案し 17 日のピアティーチングのための作戦会議を行う。	
評価方法	学びの記録による評価		
宿題指示			

授業日	2/17(火)	3 学期授業回数	5 回目 / 全 6 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力・人間性】 本時の具体的な目標 ・ピアティーチングにおいて「アート思考の授業発表」		
時間 授業内容	5 限 6 限	授業より二つの班が 2 年生探究授業全体発表会にて発表	
評価方法	学びの記録による評価		
宿題指示			

授業日	2/24(火)	3 学期授業回数	6 回目 / 全 6 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力・人間性】 本時の具体的な目標 ・戦争とアートについて考える ・		
時間 授業内容	5 限 6 限	ドキュメンタリー映画監督、坂田雅子さんの「失われた時の中で」を紹介 現代社会を捉え、考える視点を見つめ、現代のわれわれの生活が歴史の延長線上にあるという現実を考える	
評価方法	アートノートによる評価		
宿題指示			